

御霊神社と対照的な主に女の子による太刀踊
太刀踊(粟利郷天神社)

指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	たちおどり(あわりごうてんじんじゃ)
所在地	瀬戸内市牛窓町長浜(粟利郷天神社)
指定年月日	平成13年3月23日
解説	粟利郷天神社の秋祭りに奉納される踊り。御霊社の太刀踊とは対照的にこちらは12～3才の主に少女により踊られる。男役・女役がそれぞれ太刀・薙刀を持ち、箱の蓋を叩く拍子木のリズムに合わせて軽妙に踊る。その所作には古風な伝統と軽妙な舞踊の美しさが見られる。
アクセス方法	ブルーライン 邑久ICから約4.2km
公開状況	開催日:10月の正八幡宮の秋祭りとその翌日
設備	
備考	

きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	太刀踊(粟利郷天神社)
よみかた	たちおどり(あわりごうてんじんじゃ)
しょざいち (所在地)	瀬戸内市牛窓町長浜(粟利郷天神社)
していしたひ (指定した日)	平成13年3月23日
せつめい	牛窓(うしまど)の秋祭り(あきまつり)のときに粟利郷天神社(あわりごうてんじんじゃ)の神さまに捧(ささ)げる踊(おど)りです。太刀踊(たちおどり)は牛窓の御霊社(ごりょうしゃ)でも行われていますが、こちらは主に女の子によって踊られます。それぞれ太刀(たち)や、なぎなたを持って、箱(はこ)のふたをたたくりズムに合わせて踊ります。